

平成 29 年度継続課題に係る継続評価書

研究機関 : (株)リクルートライフスタイル、(株)リクルートコミュニケーションズ、(株)ATR-Trek

研究開発課題 : グローバルコミュニケーション計画の推進 - 多言語音声翻訳技術の研究開発及び社会実証- II. 多言語音声翻訳の利活用に関する開発・実証

研究開発期間 : 平成 27 ~ 29 年度

代表研究責任者 : 佐々木 康太郎

■ 総合評価 : 適

(評価点 17 点 / 25 点中)

(総論)

翻訳技術に不備があると言われている中で、それを補って余りあるような UI 改善の努力がされており、着実に目標に近づいているように見える。

実証実験を重ねることにより、音声翻訳システムを世に出す上での課題のみならず、本研究課題の範囲に含まれない問題も幅広く収集している。

(コメント)

- 翻訳技術に不備があると言われている中で、それを補って余りあるような UI 改善の努力が見受けられる。
- アプリの利用満足度では 6 割を超えて、7割超を達成しており、着実に目標に近づいているように見受けられる。
- 実証実験を重ねることにより、音声翻訳システムを世に出す上での課題を十分に蓄積されている。
- 実証実験で明らかになった問題を、本課題の守備範囲に含まれない内容についても収集している。

(1) 当該年度における研究開発の目標達成(見込み)状況及びアウトカム
目標の達成に向けた取組みの実施状況

(5～1の5段階評価) : 評価4

(総論)

アプリの利用満足度は着実に向上しており、種々の使用性向上の努力を評価したい。

UI/UXに関する定性的な評価は十分になされているが、次年度は定量的評価も期待したい。

(コメント)

- アプリの利用満足度では6割を超えて、7割超を達成。
- 実施状況は確認できた。
- UIに対する満足度向上に代表されるように種々の使用性向上の努力を評価したい。
- 使用性能も十分に向上しており、努力のあとが客観的にうかがえる。
- UI/UXに関する定量的評価があるとより良い。

(2) 当該年度における研究資金使用状況

(5～1の5段階評価) : 評価3

(総論)

当初の予定通り、音声翻訳システムをUIまで含めて開発し、(実証専用アプリ)VoiceTra.Rの評価も適切に実施する方向で研究資金を使用されている。

(コメント)

- VoiceTra.Rの評価を、UIに関しては他の翻訳アプリとの比較など幅広く実施しており、翻訳精度に関しては適切な評価がなされている。
- 音声翻訳システムをUIまで含めて開発する方向で、適切に研究資金が使用されている。

(3) 研究開発実施計画及びアウトカム目標の達成に向けた取組み

(5～1の5段階評価) : 評価4

(総論)

実証実験を3期に分けるなど、これまでの知見を踏まえた見直しを行っており、目標達成に向けた取組みが実施されている。

音声認識部と翻訳部の有機的結合、音声翻訳技術とUIの結合といった更に一步進んだ技術の成熟を期待する。

(コメント)

- 実証実験を3期に分けるなど、これまでの知見を踏まえた見直しを行っている。
- 目標達成に向けた取組みは概ね理解できた。
- 現状の各コンポーネントに対する向上策は妥当と考えられる。
- 音声認識部と翻訳部の有機的結合、音声翻訳技術とUIの結合といった更に一步進んだ技術の成熟を期待する。

(4) 予算計画

(5～1の5段階評価) : 評価3

(総論)

当初の見込み通り計画されており、最終年度も今年度と同様に着実な成果が期待できる。

(コメント)

- 最終年度の予算計画としての特徴はあまり見られないが、今年度と同様に着実な成果が期待できる。
- 当初の見込み通り推移されるものと期待できる。

(5) 実施体制

(5～1の5段階評価) : 評価3

(総論)

各地での実証実験はシステム利用者を効率的に巻き込んで進められており、翻訳技術の不備を補う使用ノウハウの蓄積が十分期待できる体制となっている。

障害者向けのUIなど非商用利用への対応も検討されているので、今後は非商用分野への応用も期待したい。

(コメント)

- 非商用利用への対応も検討されているので、今後は非商用分野への応用面も強調して欲しい。
- システム利用者を効率的に巻き込んだ実験を進めており、翻訳技術の不備を補う使用ノウハウの蓄積が十分期待できる体制となっている。